

2023年5月15日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社 ROCKY-ICHIMARU と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社 ROCKY-ICHIMARU（代表取締役 市丸 寛展）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。

株式会社 ROCKY-ICHIMARU は、タイヤ加硫機用バルブ製造におけるグローバルニッチトップ企業です（推計での国内シェア約 90%、海外シェア約 30%）。「見えないところに価値がある」をブランド・コンセプトとし、安全面の配慮、使い勝手の改善、製品・会社全体のイメージ向上等、「見えない部分への配慮」にて期待を超える価値創造に取り組んでいます。

また、「ものづくりを進化させ、持続可能な社会の実現に貢献する」という PURPOSE のもと、全てのステークホルダーに配慮し事業活動を行い、環境・社会・ガバナンスにおいて各種重要課題を定め、サステナビリティ経営を推進しています。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

ESG（サステナビリティ全体）：

- ✓ ESG 全ての領域における取組に関する方針として「サステナビリティ基本方針」を策定されています。

環境側面（E）：

- ✓ ISO14001 の認証を取得されており、全社共通マネジメントシステムで管理、また全社目標に基づいて策定された部門目標実施項目について、四半期毎に進捗管理し、目標達成度を評価されています。
- ✓ 3R を推進するための全社的な取組として、加工や不良品で生じた金属スクラップの回収等を実施されています。
- ✓ 自社における大気汚染物質及び水質汚染物質の排出について適切に対応されています。

社会側面（S）：

- ✓ 評価制度において四半期毎に上司と面談を設定し、課題の設定と評価後のフィードバックを行っています。

- ✓ 顧客満足度調査を毎年実施されており、その内容を経営会議で共有し、各事業部の活動における対応措置を検討されています。

ガバナンス側面(G)

- ✓ 代表取締役を ESG 領域の包括的な責任者として任命されています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上